

第3回

資料2

渡良瀬遊水地エリア検討部会

エリア内で現在進行中の取組み事例について

平成29年3月9日

ラムサール条約湿地 「渡良瀬遊水地」

渡良瀬遊水地 ➡ 2012年7月にラムサール条約湿地に登録

ラムサール条約とは

国際的に重要な湿地およびそこに生息・生育する動植物の保全を促進することを目的とし、湿地の保全及び賢明な利用促進のためにとるべき措置等について規定している。

- 湿地：水田、ため池、水路、ダム湖、河川、遊水池、湧水地など

ラムサール条約の3つの理念

➤ 保全・再生

経済、文化、科学、レクリエーションにおいて大きな価値を有する湿地環境を保全・再生する。

➤ ワイズユース(賢明な利用)

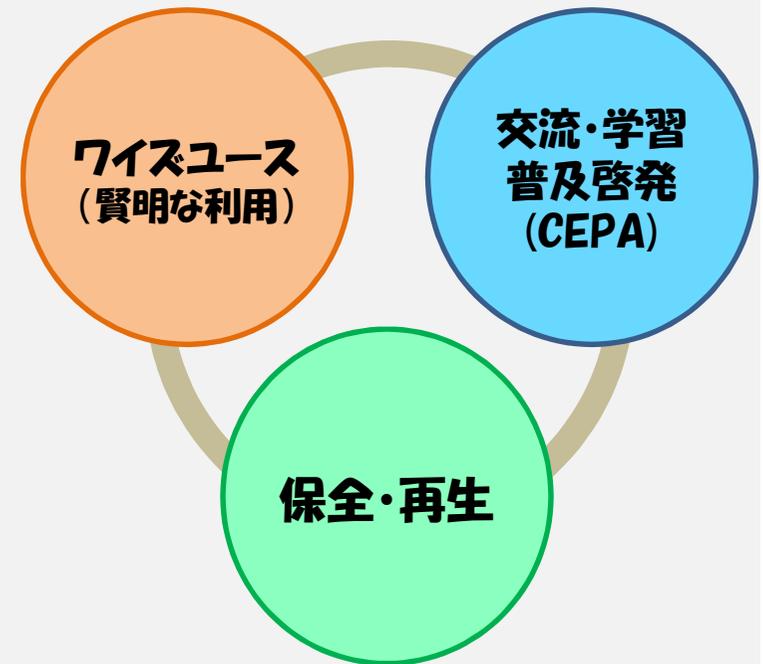
湿地生態系の機能や湿地から得られる恵みを維持しながら、私たちの暮らしと心が豊かになるように湿地を活用する。

➤ 交流・学習・普及啓発(CEPA※)

湿地の保全・再生・ワイズユースを進めるために、まず湿地に関わる様々な関係者に対して普及啓発活動を行い、湿地の自然環境に親しむ機会や、湿地の働きや重要性について理解する機会を提供する。また、これらの活動を支援・促進するため、関係者が互いに情報や経験を共有し、連携・協力する仕組みを設ける。

➡ 渡良瀬遊水地エリア エコロジカル・ネットワーク推進協議会/検討部会/意見交換会

※)CEPA: 対話(情報交換等)、教育、参加、啓発活動(Communication, Education, Participation and Awareness)



ラムサール条約の基本理念

渡良瀬遊水地エリアには、「湿地環境の大拠点」であり、「圧倒的な知名度」を誇るラムサール条約湿地である「渡良瀬遊水地」がある。エリアとしての取組みを推進するにあたっては、ラムサール条約湿地「渡良瀬遊水地」を最大限活用しながら、ラムサール条約の基本理念に基づいた視点で広域連携する地域テーマを設定する。

渡良瀬遊水地エリアにおける取組み目標(たたき案)

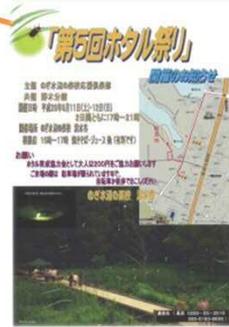
ラムサール条約の基本理念を踏まえた「渡良瀬遊水地エリアにおける取組み目標(たたき案)」を以下の通り提案する。

目標の種別	テーマ	目標
短期目標 (~2020年)	保全・再生	河川(渡良瀬遊水地を含む)では、治水と一体となった良好な湿地環境を保全・再生するための取組みが、農地では生物多様性を育む農法や基盤整備の取組み等が、いっそう進められている。それにより、渡良瀬遊水地エリアにコウノトリが一定期間滞在するようになっている。
	ウィズユース (賢明な利用)	河川(渡良瀬遊水地を含む)では治水、利水と環境が一体となった河川整備(いわゆる“グリーンインフラ”)が、農地等では未利用地を自然環境として活用する取組みが進められている。また、地域農産物・特産品のブランド化やエコツーリズムなど、地域の自然・文化を資源として認識し、活用する取組みが始まっている。
	交流・学習・普及啓発 (CEPA)	渡良瀬遊水地エリアの風土や歴史文化を踏まえた「トキやコウノトリ『も』舞う魅力的な地域」づくりの取組みに多くの市民が共感し、共に活動できる人や組織の輪が広がっているほか、交流学习等を推進する取組みが始まっている。
中期目標 (~2030年)	保全・再生	自立した各主体のパートナーシップによる、エリア一体となった湿地環境の整備・保全に取り組んだ結果、トキやコウノトリの関東地域個体群が通年定着できるだけのポテンシャルを有するようになっている。
	ウィズユース (賢明な利用)	自立した各主体のパートナーシップによる、安全・安心な農産品や天然素材を利用した商品の流通やエコツーリズムなど、エリアならではの数多くの地域資源を「渡良瀬」「ラムサール」「コウノトリ・トキ」等の知名度を活かして、他とは異なる渡良瀬ブランドとして国内外に発信している。
	交流・学習・普及啓発 (CEPA)	「保全・再生」や「ウィズユース(賢明な利用)」に関する取組みに共感し、共に活動できる人や組織の輪がさらに広がり、また継続されてきた結果、次世代(環境と経済と社会が調和した持続可能な社会)を担う人材が持続的に輩出される体制が整っている。
到達目標 (~2050年)	コウノトリやトキが絶滅の危機から脱し普通種になっているとともに、河川や農地等の水辺には多様な生物にあふれた魅力的な空間が形成されている。また、自然空間を活かした賑わいある地域づくりが進み、都心部と渡良瀬遊水地エリアとの対流を契機に、グリーンインフラによりエリア内の安全・安心が担保され、環境と経済と社会が調和した持続可能な社会が形成されている。	

渡良瀬遊水地エリアにおける既存の取組み

ワイスユース (賢明な利用)

- 遊休農地の活用
- 自然資源を活用した事業(イベント等)の実施
- 治水機能と一体化した“グリーンインフラ”としての湿地環境の整備



交流・学習・普及啓発 (CEPA)

- 環境保全型農業の推進
(普及啓発イベントの開催など)
- モニタリング調査の実施
- 環境教育の実施
- 普及啓発・広報手段の充実/
多様な主体による連携・協働の推進自
- 資源を活用した事業(イベント等)の実施



ラムサール条約の基本理念 = 渡良瀬遊水地エリアの取組みテーマ

保全・再生

- 動植物の生息に配慮した水辺環境の創出
- 遊休農地の活用
- 自然環境関連計画の策定・方針反映
- 外来生物の除去
- モニタリング調査の実施
- 希少生物や湿地環境の保全・再生・維持管理



◆動植物の生息に配慮した水辺環境の創出

- ・生物多様性を育む農法の実施・支援
- ・農地の環境整備(水域連続性の確保、江の設置など)
- ・河岸の緩勾配化(水域と陸域の連続性確保など)

主な既存の取組み

- ・環境保全型農業の実施支援
(茨城県、茨城県内各市町村、栃木県、栃木市、小山市、埼玉県、久喜市ほか)
- ・動物の生息に配慮した水と緑のネットワーク形成の推進(五霞町)
- ・水田魚道の設置、なつみずたんぼの実施(栃木県、小山市)
- ・板倉川河岸および調節池の緩勾配化(群馬県)



板倉川調節池の緩傾斜護岸
撮影:(公財)日本生態系協会



エコ農業とちぎカタログ
出典:栃木県HP



水田と水路を結ぶ魚道(小山市)
出典:(公財)日本生態系協会ライブラリ



遡上した魚類
(ドジョウ、タモロコなど)
一晚網を仕掛けて捕獲
撮影:(公財)日本生態系協会

◆自然環境関連計画の策定・方針反映

- ・生物多様性地域戦略などの策定
- ・生物多様性の保全・再生とそれによる地域振興方策の検討

主な既存の取組み

- ・群馬県希少野生動植物の種の保護に関する条例の制定(群馬県)
- ・生物多様性ぐんま戦略の策定(群馬県(作業中))
- ・茨城県の生物多様性戦略の策定(茨城県)
- ・渡良瀬遊水地第2調節池エコミュージアム基本計画等の策定(小山市)



茨城県の生物多様性戦略
出典:茨城県HP



水と緑と歴史のふるさとプラン
出典:野木町HP



渡良瀬遊水地第2調節池
エコミュージアム基本計画
出典:小山市HP

◆外来生物の除去

- ・健全な生態系を守り、育てるための侵略的な外来生物の除去
- ・多様な主体が連携した、効果的な除去
- ・外来生物について普及啓発するためのパンフレット等の作成



外来魚「ブルーギル」
出典：(公財)日本生態系協会
ライブラリ



外来植物除去
出典：栃木市HP

主な既存の取組み

- ・のぎ水辺の楽校での外来植物駆除(野木町)
- ・渡良瀬遊水地第2調節池でのセイタカアワダチソウ除去(小山市・野木町)
- ・渡良瀬遊水地第1調節池での外来植物の除去(栃木市)
- ・アライグマに関する普及啓発リーフレットの作成(埼玉県)

アライグマ

どこから来たの?
北アメリカが原産です。日本で初めて野生化したアライグマが関東となったのは、1965年に愛知県豊田市の教育施設から脱走したものとされています。その後、ペットとして輸入されたものが逃げたか放されたりして野生化し、全国で分布を拡大しています。

どんな動物?
頭胴長(鼻の先から尻尾まで)40cm~60cm、体重5~10kgの中大型哺乳類です。歯は犬歯に伸びていますが、鋭く長く5~10cmの長い歯をもっています。

アライグマと間違えやすい動物
犬や猫、狸、熊の姿や生態習性などがタヌキと似ています。アライグマの目の周囲のマスク模様ははっきりしています。このほか、アナグマ、ハクセンもアライグマに間違えられることがありますが、犬や猫は、アライグマと違って尻尾に黒い縞模様があります。

アライグマがいたらどうなるの?
1. 農作物や住宅を害し、人に危害を及ぼす。2. 不用意に捕獲しようとして高い場所から落ちたり、かみつきたりして大怪我です。3. 繁殖力が旺盛で、1匹の出産で5~6頭程度の子を産みます。国内では天敵がいらないため、このままでは増え続けます。

埼玉県内にいるの?
埼玉県内では、比企郡を中心に急激に生息数を増やし、その範囲も広がっています。

アライグマを見つけたら...
町や市に知らせるとは大変危険です。見つけたら、地元の特産品または農産物管理事務所へ連絡してください。

アライグマと間違えやすい動物
タヌキ、アナグマ、ハクセン

アライグマの生態
雑食性で、穀類の粟、黍、粟、豆、芋、サトウ、カエデなどの樹皮、樹やカマの根、葉などのほか、トウモロコシ、ナシ、スイカなどの農作物も食べます。ドーナツや甘い菓子なども好きで、生ゴミも食べます。

アライグマの目
アライグマの目の周囲には黒いマスク模様があります。

アライグマの足
アライグマの足は、人間の足と似ています。

アライグマの尾
アライグマの尾は、人間の尾と似ています。



アライグマリーフレット
出典：埼玉県HP

セイタカアワダチソウ除去
出典：小山市提供

第15回
ヤナギ・セイタカアワダチソウ除去作戦
参加者大募集!

渡良瀬遊水地では、ヤナギやセイタカアワダチソウなどが湿地の希少植物の生育に悪影響を与えています。小山市では、関係機関・団体やボランティアの方々とともに、ヤナギやセイタカアワダチソウの抜き取り作業を行い、渡良瀬遊水地の湿地環境と希少植物の保全を図っています。みんなで渡良瀬遊水地の未来を守りましょう!

【小雨決行】雨天の場合は中止、中止の場合は、前日まで
小山市ホームページ
<http://www.city.oyama Tochigi.jp/>
かわたせ自然ミュージアム
<http://www.watarase-museum.net/>
にてお知らせします。

実施日 平成29年2月12日(日)
場所 渡良瀬遊水地第2調節池
環境学習フィールド3

《スケジュール》
8:30 受付開始(事前申込み不要)
(環境学習フィールド3 裏裏面地図参照)
受付後 作業指導~順次作業開始
10:00 終了(予定)

前回(12月3日)の除去作業には、約700名のご参加をいただきました。ありがとうございました。

※この会は主催者で運営。参加者は、持ち帰りも帰路(長崎・美濃)と長崎へお越しください。

主催 小山市、野木町、小山市教育委員会、ラムサール条約登録地「渡良瀬遊水地」第2調節池及び周辺地域多様な生物多様性保全協議会(ひんがし湿地)ネットワーク、日本野鳥の会埼玉支部、渡良瀬遊水地守り実行委員会、かわたせ自然基金、かわたせ自然保護推進協議会、コンクリートの駒うるふ会、おやま(おんま)会、小山市渡良瀬遊水地水循環・ラムサール賢明な利用・周辺地帯管理推進協議会

後援 埼玉県環境部、埼玉県環境局、上野河川事務所、栃木県、一般財団法人渡良瀬遊水地アウターゾーン振興財団、株式会社伊藤園

協力 栃木市、野木町、坂倉町、加賀町、渡良瀬遊水地保全・利用協議会、足利市、小山市、小山市建設部、小山市地産物産振興協議会、栃木県農業振興協議会、栃木県農林畜産推進センター、小山市、小山市工務部、特別協力 株式会社伊藤園

問合せ 小山市総合政策部渡良瀬遊水地ラムサール推進課 TEL:0285-22-9354

ヤナギ・セイタカアワダチソウ除去作戦は、開通おやま健康マイレージ対象事業(2ポイント)です。

◆モニタリング調査の実施

- ・経年的にエリア内で統一された手法で生きもの調査を実施
- ・調査結果を整理し、課題を把握し、保全・再生に活用
- ・子供から大人までが参加した環境教育および交流の場

主な既存の取組み

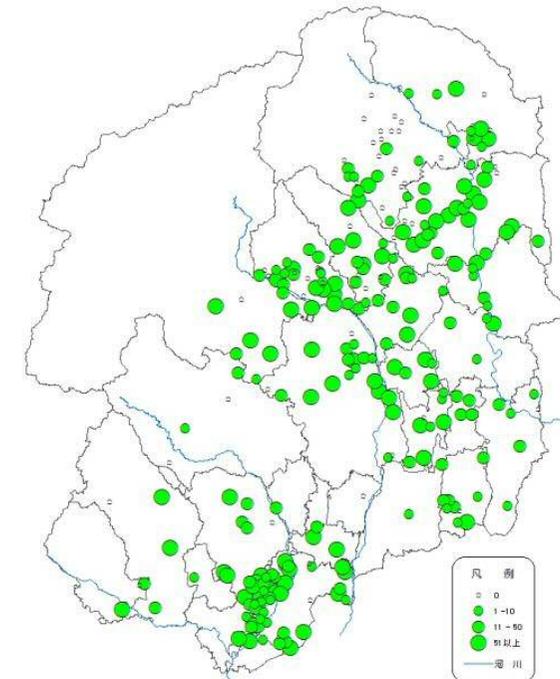
- ・工業団地造成の前後の自然環境モニタリング調査(栃木市)
- ・自然観察会を兼ねた生物調査の実施(加須市)



調査結果の整理の様子



ふゆみずたんぼ実験田での生き物調査(小山市)
撮影:(公財)日本生態系協会



アウトプットイメージ図＝ドジョウの分布＝

(出典:上下ともに、平成24年度 農地・水保管理支払交付金
田んぼまわりの生きもの調査 結果報告書
平成25年10月 栃木県農地・水・環境保全向上対策推進協議会)

◆希少な生物/環境の保全・再生・維持管理

- ・自然保護区の設置(ゾーニング)
- ・生息・生育に人の手が必要な生き物の保全・再生・維持管理

主な既存の取組み

- ・里山林の保全・再生・維持管理
(茨城県、加須市、久喜市、古河市、栃木県、栃木市)
- ・貴重な環境・生き物の保全・再生・維持管理
(栃木市、加須市)



オニバス
出典: 加須市HP



ミズアオイ
出典: 栃木市facebook



ミズアオイ復活プロジェクト
出典: 栃木市HP



樹木の植栽、維持管理
出典: 加須市HP



埼玉県内唯一のオニバス自生地
出典: 加須市HP



関東平野唯一のトキソウ自生地「浮野の里」
出典: 加須市の環境 平成27年度版

◆遊休農地の活用

・近年増加傾向にある、遊休農地(耕作放棄地)をビオトープとして活用

※注意点

遊休農地をビオトープとして活用する主旨は、あくまで農地としての機能の維持であるため、それを踏まえた活用が必要となる

主な既存の取組み

- ・耕作放棄地の有効活用による自然環境の向上の検討(栃木市)



ビオトープイメージ写真(千葉県野田市)
撮影:(公財)日本生態系協会

【参考】～コウノトリの野生復帰に取り組む兵庫県豊岡市の例～

兵庫県豊岡市では、いつでも稲作が再開できるよう、基本的に一般の田んぼと同じ管理作業を実施している。

田んぼビオトープの作業スケジュール

	一般の田んぼでの稲作作業	田んぼビオトープの維持・管理作業
4月	耕うん 代かき	下旬～5月上旬:耕うんと代かき
5月	田植え	※できるだけ深水に水を張る
6月	中耕除草	
7月	草刈り・中干し	上旬:草刈り(1回目)
8月	草刈り	中旬:草刈り(2回目) ※水田雑草(コナギ、オモダカなど)が気になるようなら、代かきを1回行う
9月		
10月	収穫	※できれば冬場も水を落とさずに湛水状態を保つ(冬水田んぼ)

出典:多面的機能支払 活動マニュアル 山口県版(平成28年度)



田んぼビオトープとして整備された遊休農地
(兵庫県豊岡市田結湿地)
撮影:(公財)日本生態系協会

◆自然資源を活用した事業(イベント等)の実施

- ・生き物や景観等、自然資源を活用した自然観察イベントやエコツアー等の実施
- ・生物多様性に配慮して生産された農産物のブランド化・付加価値化
- ・自然の恵みを利用した食材・料理等の提供

主な既存の取組み

- ・ のぎ水辺の楽校でのホテル観賞会(のぎ水辺の楽校応援倶楽部)
- ・ ノウルシ群生地、トキソウ自生地である「浮野の里」のエコミュージアム化検討(加須市)
- ・ 歴史・文化施設や自然地などを巡ってもらうための観光自転車の設置(古河市・野木町)
- ・ ふゆみずたんぼ米関連商品のブランド化(小山市)



埼玉県内でも数少ない
ノウルシ群生地「浮野の里」
出典：加須市の環境 平成27年度版



【小山市ブランド商品】

→
この酒 小山のラムサール
ふゆみずたんぼ米
←
ラムサールふゆみずたんぼ米

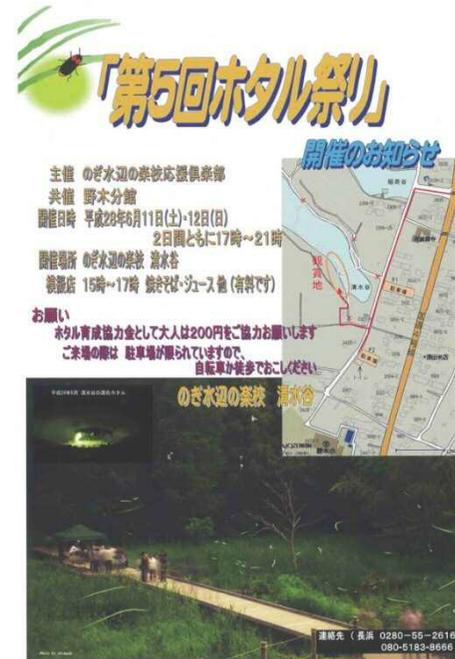
出典：小山市HP



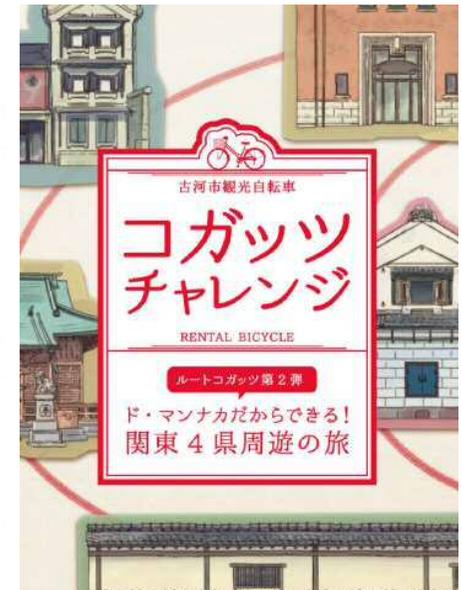
古河ブランド「鮒甘露煮」



出典：古河市提供



のぎ水辺の楽校でのホテル観賞会
出典：野木町提供



観光自転車事業出典：古河市提供

◆治水と一体化した湿地環境の整備

- ・治水機能確保のための河道掘削に併せた湿地整備の実施
(掘削形状の工夫など)
- ・冠水頻度の設定による外来植物繁茂の防除

主な既存の取組み

- ・渡良瀬遊水地第2調節池における湿地の試験掘削
(利根川上流河川事務所)



環境学習フィールド(3)の景観



環境学習フィールド(3)拡張部-1に飛来した
野田市放鳥コウノトリ(H28.10.3)
撮影:(公財)日本生態系協会



出典:利根川上流河川事務所

◆環境保全型農業の推進

- ・勉強会、見学圃場(モデル圃場)の設置
- ・学校給食への提供等、環境にやさしい生産者だけでなく、環境にやさしい消費者の確保
- ・環境にやさしい農法で生産された農産物を扱うイベントの開催



ホンモロコ
出典:小山市提供



とち介ランチ
地元の特産品を食材、加工品として給食で提供
出典:栃木市HP

主な既存の取組み

- ・研修会、シンポジウムの開催(栃木県、境町)
- ・エコ農業を見学できる公開圃場の設置、カタログの作成(栃木県)
- ・地元農産物の学校給食への提供(加須市、栃木市)
- ・農産物に特化したイベント「とちぎアグリフェスタ」の開催(アグリフェスタ実行委員会(栃木市内))
- ・ふゆみずたんぼを活用したホンモロコ・ナマズの養殖(小山市)



農産物に特化したイベント「とちぎアグリフェスタ」の開催
出典:栃木市HP



出典:栃木県HP



出典:小山市HP

◆環境教育の実施

- ・地域の自然を守るボランティアリーダーやガイド等を育成する環境講座の実施
- ・自然体験プログラムや食育学習の場の提供
- ・学習教材の作成・配布



渡良瀬遊水地第2調節池を見学する小学生
出典：小山市提供



わたらせ遊水地学習ブック
出典：小山市提供

主な既存の取組み

- ・地域活動を実践できる人材の育成(群馬県、小山市、栃木市)
- ・環境教育の場の提供
- ・市民農園による食育推進(加須市、久喜市、結城市、小山市、栃木市、五霞町)
- ・渡良瀬遊水地体験学習の支援(バス代補助)(小山市)



親子の水辺教室(栃木市)
出典：平成23年度「親子の水辺教室」開催について



田んぼアート事業 田植え(結城市・小山市)
出典：結城市facebook



渡良瀬遊水地ボランティアガイド養成講座
出典：栃木市HP



人材育成講座
出典：小山市提供

◆普及啓発・広報手段の充実/ 多様な主体による連携・協働の推進

- ・特定テーマに特化した専門ページの作成
(今後→‘渡良瀬遊水地エリア’の統一的な広報手段の作成)
- ・多様な主体のネットワークづくり

主な既存の取組み

- ・「エコ農業とちぎ」の通信の発行、facebookページの開設(栃木県)
- ・自治体ブランドを扱う専門ホームページの開設(栃木市ほか)
- ・コウノトリ人工巣塔の設置(小山市)
- ★渡良瀬遊水地エリア エコロジカル・ネットワーク推進協議会の設置



コウノトリ・トキの野生復帰のシンボルとして、市民への取組みの普及啓発が期待される

出典:小山市提供



出典:「エコ農業とちぎ」facebook



出典:栃木市ブランド「とちぎ小江戸ブランド」専門HP